学校番号	218

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	実用国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	国語必携　パーフェクト演習三訂新版（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「国語力」および「言語的教養」にフォーカスし、実践的な観点から学習し、その習得を目指します。
・自分の考えや経験を言語化する機会を持ち、伝えたいことをより正確に伝えられるよう取り組みます。
・授業ごとに副教材を用いて問題演習を行い、並行して時間ごとの課題に取り組みます。次回授業の演習箇所は宿題として予習しておきましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・主な常用漢字の読み書き、一般常識や慣用句等、社会生活に必要不可欠な基礎的国語力を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
・「思考力・判断力・表現力」のうち、基礎となる語彙の拡充、表現のプロセスの学習、工夫など、「書くこと」についての学びを深める。
【学びに向かう力、人間性等】
・最終学年の総括として自身の学生生活を振り返った際、自身の学習の成果を明快に、適切に表現しようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	一般的な社会生活を送るうえで必要な知識や技能が身についており、生涯にわたる言語活動の基礎となる素養が獲得できている。	自身の考えや意見、経験をわかりやすくかつ正確に表現するための手段や工夫を学び、その技術を適切に用いて自己表現へと結びつけている。	・積極的に学習活動に参加し、自身の国語力を高めるための意欲的な取り組みがみられるか。 ・授業ごとに課された課題等をこなし、次回以降の学びへとつなげようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・漢字の読み、書き取り、熟語 ・詩、随想、文学史 ［教材］・『ちいさな物みつけた』 ・『哲学への誘い』 ・表記の基礎 ・表現の基礎　ほか	a：特に頻出度の高い常用漢字や重要語句について理解し、活用することができる。 b[書]：文語と口語の違いをはじめとした表記についての学習を深め、文章を書く上で基礎となる部分を整理できている。 c：日本語の骨格をつかみ、詩や文学など発展的な課題にも積極的に取り組んで理解しようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 作文課題	授業態度 課題の提出
	・難読語、ことわざ、慣用句、SPI ・随想、文学史（近世） ［教材］・『侏儒の言葉』 ・『文学入門』 ・あなたの高校生活 ・これからの心構え　ほか	a：特に頻出度の高い常用漢字や重要語句について理解し、活用することができる。一般常識程度の語彙力が定着している。 b[読]：随想等作品を読み、文脈や構成を読み取って正しく理解して問題を解くことができる。 c：日本語の骨格をつかみ、詩や文学など発展的な課題にも積極的に取り組んで理解しようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 作文課題	授業態度 課題の提出
2学期	・熟語の作成、敬語、同音異義語 ・評論、小説、SPI ［教材］・『最後の花時計』 ・『日本語の論理』 ・あなたのセールスポイント、本校（本社）を希望した理由　ほか	a：特に頻出度の高い常用漢字や重要語句について理解し、活用することができる。より発展的な語に関して理解し活用することができる。 b[話／聞]：指定されたテーマに沿って作文し、他生徒との意見交換を経てよりよい文章を書く方法を学習できている。 c：：日本語の骨格をつかみ、詩や文学など発展的な課題にも積極的に取り組んで理解しようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 作文課題	授業態度 課題の提出
	・表現の復習、敬語 ・高校生活の総括（下書き） ［教材］・『庭をめぐる短い覚書』 ・『「親指」革命の文明史』 ・敬語1、敬語2　ほか	a：表現において基礎となる部分を習得し、社会生活の中で活用できるレベルまで到達している。 b[書]：学習活動の中で獲得した語彙や表現を活用して、自身の高校生活を豊かな文章で表現することができる。 c：日本語の骨格をつかみ、発展的な課題にも積極的に取り組んで理解しようとしている。	定期考査 ワークブック	定期考査 作文課題	授業態度 課題の提出
3学期	・高校生活の総括 「自分新聞」の作成 ［教材］	a：文章が単調でなく、語彙や表現に幅があり、きまりを守って作文することができる。 b[書]：学習活動の中で獲得した語彙や表現を活用して、自身の高校生活を豊かな文章で表現することができる。 c：高校生活の総括として、自己の高校生活を振り返り、内容、表現、レイアウトなどに創意工夫を凝らしている。	課題の提出	課題の提出	課題の提出

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　１０　）時間

・書くこと　…　（　４０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間